

## 能勢ささゆり学園の保護者のみなさまへ 6

能勢ささゆり学園の校長の遠藤です。平素は学校の教育活動に、ご理解、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

先日、「能勢ささゆり学園の保護者のみなさまへ 5」を配布しました時には、「今回を最終回としたいと思います」と書いたのですが、新型コロナウイルス対策に関連して、どうしてもお伝えしたいことがありまして、「能勢ささゆり学園の保護者のみなさまへ 6」の配布となりました。今回も最後まで目を通していただければと思います。

これからの季節、学校として新型コロナ対策と同様に取り組みなくてはならないものに、「熱中症の予防」に向けた対策があります。今年度の夏もかなり気温の高い日が多くなりそうな予想です。また、コロナ対応の中で、今年度は8月7日まで1学期の授業がありますし、2学期もすぐに始まります。暑い中での活動の機会が例年より増えることとなります。それだけに熱中症に向けた取り組みは、保護者の方の協力もいただきながら、絶対に不可欠なものです。

2年前から本校では、夏になると「暑さ指数(WBGT)」を毎日1時間ごとに確認し、環境省が示している暑さ指数による「熱中症予防運動指針」に沿って、運動を中止したり（実際には体育の授業や中学校の運動部の活動など）、運動の程度を軽いものに抑えたりするようにして、予防に努めてきています。また、教職員で熱中症の対処方法（応急処置の手順等）を確認し、もし熱中症が疑われる症状が見られた子どもたちへも、素早く対応できるようにしています。今年度もこれらの取り組みや対応は継続してまいります。

そこで、熱中症対策として考えていることで、保護者のみなさまにお知らせしておきたいことが2点あります。

1点目は、「冷水機の稼働再開」です。これまで新型コロナウイルス感染防止の観点から、冷水機（本校には2台あります）の使用を止めていたのですが、文部科学省からのガイドラインに沿って、また本校担当の薬剤師さんからの指導も受け、次のような約束のもと、冷水機の稼働を再開していきたいと思っております。

### 【冷水機を使用するうえでの約束事】

- ① 冷水機を使用する場合は、新型コロナウイルスの感染リスクはゼロではないので、各自で必要なお茶等を必ず家から持参をしてください。
- ② もしどうしても学校で冷水機の水を飲む必要がある時は、次のことを守ってください。
  - ・水を直接口や手で受けず、必ず自分で用意したコップで受けてから次の人に場所をゆずり飲んでください。コップは割れるものや紙コップは禁止します。
  - ・コップは絶対に友達と使いまわしはしないでください。
  - ・水を出すときは、手ではなく、必ず足のペダルで踏んでください。

- ・不必要に冷水機を触らないでください。
- ・冷水機に並ぶ時も、必ず前の人との距離を取ってください。
- ・冷水機の水を水筒に入れるのはやめてください。時間がかかり、列ができて密になる恐れがあるからです。

2点目です。中学校ではすでに許可していることなのですが、小学校においても「スポーツドリンク」を許可したいと思います。スポーツドリンクは、体に吸収されやすい分量で塩分が配合されており、効率的に水分・塩分・その他ミネラルの摂取が可能です。熱中症予防にはより効果的な飲み物です。そのような理由からも、スポーツドリンクを持ってきてほしいことにしたいと思います。このスポーツドリンクを許可する期間については、明日から持ってきてもらってかまいません。そして期間の終わりについては、気候の変化を見ながら、またお知らせいたします。

ただ、スポーツドリンクは外で激しい運動をするスポーツ選手のためにつくられたもので、激しいスポーツをして消費された大量のカロリーや、汗と一緒に流れ出した塩分を補う目的がありますので、熱中症対策だといってあまりたくさん飲んでしまうとカロリーオーバーになってしまいます。下手をすると「ペットボトル症候群」といって急性の糖尿病になることもあるようです。そのため、飲み方には気を付けてほしいと思います。スポーツドリンクは、熱中症対策として大きな効果がありますが、飲み方によってはデメリットも大きいことは知っておいていただきたいと思います。

最後になりましたが、これから暑い日が増えてくることと思います。コロナ対策のためのマスク着用ですが、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外させることもしていきたいと考えます。熱中症も命にかかわる危険があることも踏まえ、熱中症への対策を優先させる場合があることもご了承ください。子どもたち本人が暑さで息苦しいと感じたときなどは、マスクを外したり、一時的に片耳にかけて呼吸をしたりなど、自身の判断でも適切にできるように指導もしていきたいと思います。

学校が本格再開して2週間が過ぎましたが、子どもたちは元気です。しかし、子どもたちなりに毎日いろいろと悩んだり、しんどい思いをしていたりすることだと思えます。常に子どもたちに寄り添い、温かい目で見守り、子どもたちの小さなサインも見逃さないようにこれからも頑張っていきたいと思えます。

どうぞよろしく願いいたします。

令和2年6月29日

能勢ささゆり学園 校長 遠藤 克俊